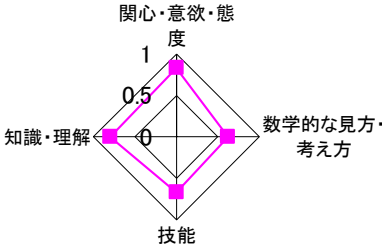


内容別・観点別の分析

(様式2)

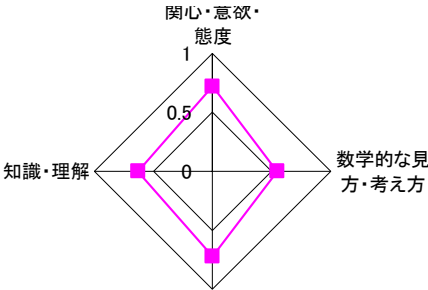
定期考査及び7月までの指導状況の分析

1年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	83%
数学的な見方・考え方	62%
技能	67%
知識・理解	80%



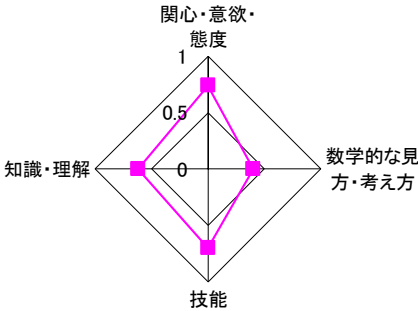
定期考査及び7月までの指導状況の分析

2年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	72%
数学的な見方・考え方	55%
技能	72%
知識・理解	63%



定期考査及び7月までの指導状況の分析

3年	観点別平均正答率
関心・意欲・態度	74%
数学的な見方・考え方	40%
技能	70%
知識・理解	62%



定期考査及び7月までの指導状況の分析

指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画

(様式3)

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	「関心・意欲・態度」、「知識・理解」に関しては概ね定着してきているが、「技能」および「数学的な見方・考え方」の観点で不十分なところがあるので、この点について指導改善する必要がある。	・繰り返し反復して学習することによって、基礎学力の定着を図る。 ・自らの考え方を説明するような指導場面を設定する。 ・すぐに解説するのではなく、ヒントを与え、生徒自らの力で答えを導かせ、分かる喜びを経験させる。	・小テストを行い、基礎基本が定着しているかを確認する。 ・学力向上支援講師と連携して個別指導と補充学習を実施する。 ・解決のための課程を表現するような課題を設定し取り組ませる。
2年	「関心・意欲・態度」、「技能」、「知識・理解」に関しては概ね定着してきているが、「数学的な見方・考え方」の観点で他の観点に比べて不十分なところがあるので、この点について指導改善する必要がある。	・レポートや小テストなど色々な課題を解かせて、深く考える場面を増やしていく。 ・自らの考え方を説明できるような指導場面を設定する。 ・すぐに解説するのではなく、ヒントを与え、生徒自らの力で答えを導かせ、分かる喜びを経験させる。	・小テストを行い、基礎基本が定着しているかを確認する。 ・学力向上支援講師と連携して個別指導と補充学習を実施する。 ・数学的な見方・考え方が身につく類題を多く解かせ、考え方を定着させる。
3年	最上級生となり、学習に前向きに取り組む姿勢ができてきた。知識や技能も少しずつ定着してきている。一方で「数学的な見方・考え方」が他の観点に比べて不十分なところがあるので、この点について指導改善する必要がある。	・レポートや小テストなど色々な課題を解かせて、深く考える場面を増やしていく。 ・自らの考え方を説明できるような指導場面を設定する。 ・すぐに解説するのではなく、ヒントを与え、生徒自らの力で答えを導かせ、分かる喜びを経験させる。	・小テストを行い、基礎基本が定着しているかを確認する。 ・学力向上支援講師と連携して個別指導と補充学習を実施する。 ・入試レベルの問題を解かせて、考え方を定着させる。

	し不十分なところかめるのでこの点について指導改善する。	・すぐに解説するのではなく、ヒントを与え、生徒自らの力で答えを導かせ、分かる喜びを経験させる	え力の正有を図る。
--	-----------------------------	--	-----------